

みんなが参加して楽しんだ与板祭

まずまずの天気にめぐまれた今年の与板祭は、盛り沢山の行事に大勢の人が参加し盛況のうちに終わりました。楽しかった祭りをカメラでひろってみました。



スナップ すなっぷ スナップ



9月2日
第1回 _____
与板町町民テニス大会
が開かれました



テニス大会に参加して 中島ミツ子 秋のさわやかな日曜日第一回町民テニス大会が与板高校コートで開催されました。最近のテニスチームを反映してか、中学生、高校生チーム、昔取った杵柄と張りきる壮年チーム、二年前から始めたママさんチーム、そして与板テニスクラブの人達等、総勢七十余名の多数の参加で試合が展開されました。

朝の小雨でコートのコンディションも良くテニスクラブ会長さん、町長さんの挨拶の後、さっそく試合開始です。私も参加することに意義ありと、ママさんチームに参加。日頃の練習の成果をと心の中で思つても、手足は思い通りに動かず、それでも二試合、三試合と進むにつれ、ここまで来たら絶対に負けられない。と思う、パートナーと二人で一本一本を大切に打つて行きました。ママさんチームでは優勝出来ましたがまだ未熟、上手な人達の試合を見てただ茫然とするばかりでした。日頃の厳しい練習に耐え、体でおぼえた技术のすばらしさの前には目を見張る思いでした。

今回の大会でまず第一に感じたことは、町民大会にふさわしく、とてもなごやかな雰囲気で行なわれたこ

テニスを通じて思うこと
島 馨



年生の時はボール拾いの毎日であり、上級生の厳しい指導に何度か、もう止めようと思った事があった。二年生の時は、テニスの基本をマスターしようと先輩の言う事を必死になつて覚えたものである。三年生の時基本を忠実に守り、そして自分なりのテニスができるようになりました。そして、今度はそれを後輩に教えるべきにならない責務があつた。その間、試合を何十回か行ない、ある時は優勝の実感を味わい、ある時は一回戦で敗れた悔しさ、悲しさを味わいました。

社会人になつて五年が過ぎました。最近はテニス人口が激増しており、観光地ニスコードがあり、皆テニスをしている。一人一人の顔を見ると非常に楽しそうである。地元にも、テニスクラブがあればなあと思つたものです。折しも町関係各位のご努力で町民テニスクラブが結成されました。ママさんテニスをはじめとして、非常に活発である。

私がテニスをはじめる時のように誰もがテニスのテの字も知らない人達であったが、今ではお互に試合ができるまでに上達されました。その手助けができたことを先輩、コーチ共々心から喜んでいます。

秋の十一面 観音まつり

— 10月17日・18日 —
— 別荘観音堂にて —
◎多数ご参拝ください。

町長杯争奪 野球大会

とき 10月14日(日)
ところ 河川グランド
◎参加チームは、朝野球
連闇に申し込み下さい。

第1回与板町長杯争奪 バレーボール大会開催

期日 11月4日(日) 午前8時30分より
会場 与板町市民体育館
各市町村の強豪チームのぶつかり合いでの試合が期待されますので、近所おさそい合わせての観戦をお願いします。
—与板町排球協会OB—



心配ごと相談室

10月16・23日と11月6日

未

= 現在高47兆円突破 =
皆さまの暮らしに役立つ郵便貯金
10月は郵便貯金月間

皆さんに広くご利用いただいている郵便貯金は

昭和54年7月末日現在全国で47兆円(新潟県7800

昭和34年7月末日現在全国で47兆円（新潟県7800億円）を超える大きな額となっています。郵便貯金は、皆さまの日常の経済生活の安定と財産づくりのお手伝いはもちろんのこと、皆さまからお預りしたお金は、大蔵省の資金運用部を通じ国の財政投融資されています。融資先は皆さまの暮らしに關係の深い住宅の建設、生活環境の整備、公害の防止、農林漁業、中小企業の近代化、道路・鉄道の建設、文教施設の充実など、いずれも福祉の向上と経済の発展に役立っています。郵政省では、このような郵便貯金の働きを広く国民のみなさまにお知らせするため、各種關係機関の協力を得て「豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」を10月中全国で行います。

~~~~~みなさまの身近で生きる

#### 簡易保険の資金 ◯ ◯ ◯ ◯ ◯

皆さまに親しまれてきた「郵便局の簡易保険」は毎年400万件以上の新規加入をいただき現在保有契約件数5200万件という規模になっています。皆さまから払い込まれる保険料の額は1年間で2兆円以上となり将来保険金等として皆さまにお支払いするまで積み立てられます。こうして積み立て

られたお金の集積が「簡保資金」と呼ばれるものと現在12兆円を超える金額にいっています。この簡保資金は公共の利益に役立つよう運用され皆さまが日常何気なく利用されている鉄道や道路、学校など公共施設、公営住宅、公園、図書館など国民生活に密着した施設の建設、整備、拡充などに融資されています。簡保資金は昭和53年度では新潟県へ69億9千万円融資されています。皆さまの身近に生かされる郵便局の簡易保険を今後ともご愛顧を。  
=お年玉つき年賀はがき11月5日発売=

ので、改めて調査を行うことにしたわけです。

全家屋が調査の対象となりますので、調査期間も今年、来年、再来年と三年間を予定しております。したがって、調査期日の近くになつたところから、順次戸毎にお願いの文書をお届けいたしますので、よろしく御協力をお願いいたします。

又、調査員には町の固定資産評価補助員の次の二名の方にお願いしてありますので御承知の上、御協力を下さい。



## 税金あれこれ

## 家屋の一斉調査を行ないます

## 今月の納税は

- ◎町民税の第3期分  
と
- ◎国民健康保険税の  
10月分  
です



五十嵐若一氏  
土地家屋調査士  
建 築 士  
山 田 慶 治  
安永町  
建 築 士  
・ 槙原町  
建 築 士

二、選定方法

昭和54年10月1日から  
昭和54年10月27日まで

先着順により無抽選します。

三、融資額

木造住宅(80m<sup>2</sup>以上)の場合  
合三六〇〇万円→三八〇〇万円。  
断熱構造化工事を行った場合十万円→三十万円の融資額の加算及び老人(65才以上)等が同居する場合四十万円→八十万円の融資額の割増し制度があります。

四、利率

年五・五%

五、返済期間

木造の場合二十五年以内

六、申込場所

住宅建設場所と同一県内の「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関。

◎詳しいことについては、  
住宅金融公庫北関東支所  
(電話〇二七二一三二一  
六六五五)又はお近くの  
公庫業務取扱金融機関で  
ご相談下さい。

**申込み受付のお知らせ**

井伊氏の系図

移城下町

提寺、龍潭寺の過去帳は無い。又、往時の井伊家系図にもない。理由は、道直（井の八郎）は保元の乱に、源義朝に組みして天皇方に馳せ参じて功があつたが（保元物語）後、天皇方の平清盛派と、源義朝派に分裂、義朝が平清盛に討たれると及んで、道直もまた追われ、死後も過去帳と系図にその名を伏せられるに至った。

二、共保十二代の道政、その子高顯、時直、顯直、該直、成直の六人の名も龍潭寺過去帳及び、往時の井伊家系図には伏されて、しるされていなかつた。理由は前号（第一五号）に記した通りであるが、すでに落白の南朝をあくまでも支持して戦い、宗良親王は井伊一族に守られて井伊城に没せられた。水戸光國の大日本史で、南朝正統論が世にあらわれないうちは、楠木、新田、北畠、井伊らの「南北の忠臣」達は、「北朝にさからつた逆賊」として追いまわされ、井伊氏も北朝をはばかって六人の名を伏せたものとされている。

＊**プッシュホン**の  
おはなし井  
わがくにで「回す」から  
「押す」ダイヤルのプッシュホンが登場して、もう十  
年になります。いち早く  
取り入れたのがアメリカで、回すより押す動作の方  
が速いからという目的で考  
えられたのが始まり。  
プッシュホンが登場し  
たときは、女性のマニキュアを傷つけない電話機として大へん好評だった  
とか。  
数字の配列については最も押すスピードが速く、押し違いが少ない配列として今の形になつた  
そうです。

機能ボタン＊印が赤色で燃える太陽を表わし、井印が青色で青い月を表現したもの。数字の配列やマークは世界的にきめられた共通のものです。

プッシュホンは「おぼえる電話」「計算する電話」として、いまではご家庭に、ビジネスに大いに利用されております。

第二回 個人住宅建設資金